

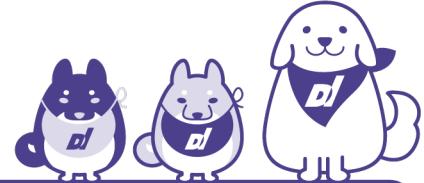
DIスタッフ通信 №.64 「私の母」



なかやま しゅういち

中山 秀一

担当 web企画室 お客様係



桜の季節が終わり、新緑がまぶしい今日この頃。外出自粛など大変な状況が続きますが、一人一人が日々の行動に注意を払い、心を一つにして乗り切ってまいりましょう！

さて5月といえば「母の日」。私が就職して間もない頃にプレゼントした帽子を、母が喜んで使い続けてくれていたことを懐かしく思い出します。母は私がまだ歩き出すかどうかといった歳のころにくも膜下出血で倒れ、一命をとりとめたものの記憶障害が残り、またその後もいくつかの大病を経験しながらも私を育ててくれました。元々ピアノの教師でしたが、病気の後はそれも弾けなくなりました。それでもいつでも明るく、ときには厳しく、そして人には優しく接する母の普段の振る舞いが、今になって思えば私自身の行動や考え方方に大きく影響しているように思います。

そんな母は東日本大震災の年に亡くなりました。9年経ちますが、それでもときどき私の妻や子供たちから「ばあばちゃんがさあ…」と話題になることがあります。亡くしてからまた改めて母の偉大さを感じます。9月の命日の頃には、埼玉へお墓参りに行けるくらいには、新型コロナウイルスの影響が収まっていることを願っています。